

きたがた 議会だより

No.138
平成22年5月1日



北方バスターミナル竣工式 — 新しいバス路線で出発！

contents

平成22年度予算

ICカード乗車券(アユカ)交付2

第1回、第2回臨時会報告4

一般質問5

議会改革推進委員会設置12

発行／北方町議会

編集／議会だより編集委員会 岐阜県本巣郡北方町北方1323-5 TEL(058)323-1117

URL／<http://www.town.kitagata.gifu.jp>

この議会だよりは再生紙を使用しています。

平成22年度予算

住民との協働によるまちづくり

町長施政方針

平成22年度は、環境・自然・安全・健康をキーワードに「子育て、高齢者支援、教育、都市景観」の実現に向け、町民がこのまちに住んで、このまちが好きになり、このまちを終の棲家として実感できるよう住民参加の草の根民主主義のスローガンに恥じない、参加で育てるまちづくりに全力を挙げる決意であります。

平成22年

第3回 定例会

平成22年第3回議会定例会は、3月4日から18日までの15日間の会期で開かれました。その間、本会議4日間、各常任委員会が3日間の日程で慎重に審議を行い、町長より提出された平成22年度予算を中心に、条例改正、補正予算、人事案件など17議案及び議員提出議案1件・意見書3件が原案どおり可決採択されました。また、12日は5名の一般質問がありました。

主な事業

公共交通利用促進事業

770万円


利用者の確保と拡大を図るため、バス券購入費及びバス事業者支援のバス路線維持費です。

新たに住民に対してICカード乗車券（アユカ）が申請に基づき交付されます。
*詳細は広報5月号を参照してください。

火災警報器支給事業

86万円

火災予防と高齢者支援の一助として、75歳以上の高齢者世帯に火災警報器を設置します。



ayūca とは...

- 小銭なしで乗車できます！
ayūcaを購入時あらかじめ2500円分の料金をチャージすることで残金がなくなるまでは、小銭の準備は必要ありません。
- バスケースにいれたまま使える！
バス車内の読み取り装置にayūcaをかざすだけで乗車できます。バスケースに入れたまま使えるから、乗降車時の負担も減ります。
- 乗る度にポイントがたまり、おトクに乗車できる！
例えば、平日の10時～16時の降車であれば、利用金額の40%が次回のチャージ時にプラスされ、以降の乗車時に使えます。
- 1,000円単位で2万円まで積み増し(チャージ)可能！

アユカカードとは

庁舎・公民館耐震化事業

8394万円

災害対策本部となる庁舎と避難所となる公民館の安全性を確保し、被害の軽減及び住民の安全を確保できるよう耐震補強工事等します。

地域包括支援センター

事務所の移設 190万円

総合体育館の楽屋棟を改修し、町民に利用しやすい施設として保健センターから移設します。

子ども手当支給事業

3億7024万円

中学校までの子ども1人に1ヶ月13000円を支給します。

都市景観事業 4200万円

1日の疲れを癒す暮らしの場所には緑と空間が必要であり、円鏡寺公園、伊勢田公園、百年河川公園の修景・改修整備をします。



円鏡寺公園

心の教育推進事業 218万円

児童生徒のモラル、規範意識の高揚を図り、好ましい実践的な態度を育てるため幼稚園・小中学校に交付します。

子育て支援事業 13003万円

子育て支援及び子どもの安全な生活の場の確保を図るため、放課後児童クラブ（学童保育）の定員を55名増し145名の運営費です。

平成22年度 各会計当初予算

会計名	予算額	前年度比	採決の状況
一般会計	49億6,000万円	3.7%	賛成多数
特別会計			
国民健康保険	19億9,501万円	8.4%	賛成多数
老人保健医療	2,768万円	△14.9%	全会一致
後期高齢者医療	1億5,799万円	11.6%	賛成多数
下水道事業	6億2,100万円	△3.3%	全会一致
上水道事業会計	1億9,063万円	△2.2%	全会一致
合計	79億5,231万円	4.1%	

*金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

定例会で決まりました

条例

○北方町職員の勤務時間、休暇等に関する条例（全会一致）

時間外勤務代休時間制度の新設、月に60時間を超える時間外勤務の手当の額の改正及び特殊勤務手当の支給対象の見直しをしました。

廃止・認定

○北方町道路線の廃止（全会一致）

加茂土地区画整理事業区域内の道路管理引継に伴い、8路線を廃止します。

○北方町道路線の認定（全会一致）

加茂土地区画整理事業区域内の道路管理引継に伴い、34路線を認定します。

人事

○北方町老人デイサービスセンター設置条例（全会一致）

食料料費の個人負担をこ

宮川浩兵氏を教育長に再任

平成22年3月31日の任期満了に伴い、宮川浩兵氏（森町）を教育委員会委員に任

れまでの1食「300円」から「400円」に増額しました。

命することを全会一致で同意しました。

なお、教育委員会委員の互選により、引き続き教育長に就任されました。任期は4年間です。

林明夫氏を教育委員に任命
同意

空席となっていた教育委員会委員に、林明夫氏（地下）を任命することを全会一致で同意しました。任期は4年間です。

佐野恵美子氏を人権擁護委員の推薦に同意

平成22年6月30日で任期満了となるため、佐野恵美子氏（地下）を人権擁護委員に適任者と認めることを全会一致で同意しました。任期は3年間です。

○平成21年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)(全会一致)

事業勘定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,635万円を追加し、19億7,665万円としました。

主な補正予算

【歳入】

・療養給付費負担金	1,203万円
・基金繰入金	2,134万円

【歳出】

・一般被保険者療養給付費	2,583万円
・一般被保険者高額療養費	957万円

○平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)(全会一致)

事業勘定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ142万円を追加し、1億4,322万円としました。

補正予算

【歳入】

・保険基盤安定繰入金	142万円
------------	-------

【歳出】

・後期高齢者医療広域連合納付金	142万円
-----------------	-------

○平成21年度一般会計補正予算(第8号)(全会一致)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3,470万円を追加し、51億5,505万円としました。

主な補正予算

【歳入】

・地方特例交付金	508万円
・普通交付税	3,682万円
・まちづくり交付金事業補助金	△900万円
・北方西小学校エントランス舗装修繕工事補助金	300万円

・ふるさと寄附金	67万円
・新市町村振興宝くじ収益交付金	329万円
・県営北方住宅管理業務委託金	△593万円

【歳出】

・財政調整基金積立金	7,000万円
・老人福祉施設入所措置費	△300万円
・非被用者小学校終了前特例給付金	△471万円
・日本脳炎予防接種委託料	△360万円
・字名字区域変更業務委託料	△453万円
・県営北方住宅管理委託料	△593万円
・利子償還金	△320万円

第1回臨時会

平成22年第1回議会臨時会が1月20日に開催され、下記の議案を原案のとおり可決しました。

○工事請負契約の変更(全会一致)

北方町総合体育館大規模改修工事の契約金額「8,274万円」を「9,245万1,450円」に変更しました。

主な工事変更は、屋根の防水塗装、アリーナ入口扉の取替え、駐車場白線の引き直しなどです。

第2回臨時会

平成22年第2回議会臨時会が2月19日に開催され、下記の議案を原案のとおり可決しました。

○平成21年度一般会計補正予算(第7号)(全会一致)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5,212万円を追加し、51億2,035万円としました。

補正予算

【歳入】

・地域活性化・きめ細かな臨時交付金	4,171万円
・前年度繰越金	1,040万円

【歳出】

・設計施工管理業務委託料	245万円
・町立幼稚園施設改修工事	1,267万円
・図書館大規模改修工事	3,700万円



一般質問

5人の議員が町政を問う

議員にとって「一般質問」は、公の場である議会で、町長の考えや町政をただす大きな「武器」です。

バスターミナルとバス路線の利用促進は

総務課長／情報発信して継続的な

バス利用者の確保を図っていく



安藤浩孝議員

問1 バスICカード（アユカ）の普及方法と

運賃積み増しチャージ機の町内での設置の考えは。

答 総務課長

平成22年度に予定しているバス乗車券交付助成事業にて1世帯1枚を限度として、3000円のうち2000円を町が助成する制度で、アユカの普及を図ることを考えています。

利用状況や利用者からの要望等、動向をみて、庁舎内に入金機の設置を検討したいと思っています。



4月1日運行開始となった北方バスターミナル

問2 バス路線・マップの配布予定と駐車場の確保や案内所の設置は。

答 総務課長

岐阜バス作成のチラシを全戸配布などして事前周知を図り、バス路線図や時刻表は町広報紙・ホームページに掲載できるような作業を進めています。

バス利用者の方の駐車場として、役場前南側駐車場の3台分を優先スペースとして設けて対応します。

案内所については今のところ設置予定はなく、問い合わせには職員が対応できるように指導していきたくと考えています。

問3 定期券経由地指定制度、乗り継ぎ制度、均一運賃区間の認定は。

答 総務課長

経由地指定制度については岐阜バス指定のバス停のみ可能で、現在調整中です。

乗り継ぎ制度については、ターミナルで乗り換えの場合に、アユカ利用者は40円の割引となりますが、現金利用の場合は初乗り料金160円が必要となります。運賃均一区間の設定については、今後の課題として岐阜バスと話し合いを続けていきます。

問4 町内外の人への発信・アピール、案内看板、パンフレットなどの周知は。

答 総務課長

必要に応じて対応を検討していきます。

問5 ターミナルや道路に於いての交通安全面や円滑なバス運行の対策は。

答 総務課長

安全に利用できるようにカラー舗装やガードパイプを施すなどの対策を行い、交通規制の不具合などは、

警察関係機関と連携し早急な対策を図り、予算が伴う事案については、議会と相談し対処したいと考えています。

問 住宅用火災警報器の町内普及率はどんなものか。また、早期普及対策として、町において住宅用火災警報器の一括共同購入はできないか。

答 総務課長

住宅用火災警報器の推奨普及率は、本巣消防管内47・3%（昨年2月現在）、北方町38・6%（12月現在）で、高齢者世帯への交付事業の推進や広報での啓発、消防団等との連携を図り早期普及に努力していく考えです。

町民からの要望があれば、町がモデル機種を選定し、希望者に斡旋することなども検討していききたいと思えます。

町内巡回バス路線の実施はできないか

町 長／ 運行経費は町財政に大きく影響する



日比玲子議員

問 高齢者のためにも、町内各施設を巡るバス路線とバスターミナルへの接続はできないか。

答 町 長

「高齢者に外出の機会を」という思いは大変大切だと思います。巡回バスの運行経費は約2000万円から3000万円を要し、町財政に大きく影響します。バスが通ることとバスに乗ることを別問題と捉えている一般の方が多い中で、住民の真の要望かどうか大変難しい問題であり、これからも検討していききたいと思えます。

図書館の改修について

答 教育長

問1 図書館併設の資料室を図書館として活用してはどうか。

資料室には町の文化や文化財を学ぶ機会、次世代へ継承していく使命と役割があり、資料室を無くすとい



図書館の開架書架

う考えは、住民の理解が得られないと思います。

今後財政にゆとりが生まれた折には、「歴史資料館」の建設案と併せて「図書館」のあり方を、検討することが望ましいと思っています。

問2 開架書架を低くして、改善(採光・防犯等)を図ってはどうか。

答 教育長

開架書架18本設置の内12本が高さ193センチあり、一部の方々には多少のご不便をおかけしています。しかし、これまで高さに関する苦情がほばないこと、また低い書架に変更した場合、約5万冊陳列してある本は減少することになります。

採光・防犯には十分配慮していきますので、ご理解いただきたいと思います。

問 生涯学習センター(キラリ)の駐車場を図書館利用者に開放できないか。

答 教育長

全ての公共施設の駐車場をどう供用・管理するかという問題でもあります。例えば、昼間は開放し夜間は閉鎖するなど、町として望ましいあり方を前向きに検討していきたいと思っています。

問 町活動支援センター(もちの木)の増設・設備改善(食品衛生法の観点から作業所の新設)の考えは。また、AEDの設置を要望。

答 町長

東隣の土地を取得できれば、増設し設備の改善が図れるのではと考えています。作業所の新設については、収益確保のために、「もちの木」としての事業方針・

事業計画の検討が必要だと思います。町としては、喜んで働いていただけのような作業所にするために努力し、できる限り支援を続けていきたいと思っています。

AEDの設置については早速手配したいと思っています。

問 子ども医療費の無料化(通院)を県内市町と同様、中学校卒業までできないか。

答 町長

仮に義務教育終了までの子どもの医療費を無料化した場合、概算4600万円(年々16%から18%の伸び率)プラス国保負担増と国庫負担金は減額となり、財政は一層厳しくなります。社会構造全体をしっかりとみすえて議論する必要がある、今後も検討は続けさせていただきます。

安心・安全な町づくり政策とは何か

町長／第六次総合計画に基づき推進していく



田中五郎議員

庁舎・公民館の耐震工事について

問1 震度何度に備えているか。

答 町長

国の指針により、震度6強に耐えるに必要な強度とすることが求められています。

問2 工事内容や予算から見て、将来合併はないと考えてよいか。また、予算と改修内容は。

答 町長

合併とは別問題として、災害に強いまちづくりの



耐震補強工事を行う庁舎、公民館

環として耐震工事を行いますので、ご理解いただきたく思います。

改修費用としては、庁舎に5324万円、公民館に2940万円、管理費に130万円、合計

8394万円です。

改修内容は、庁舎南面1階外壁4工面、公民館北側

1・2階外壁の4工面を鋼板内蔵の外付けコンクリートブレース（すじかい）を設置します。

問3 庁舎の建替えは無いものと考え

るが、高齢者や障がい者にやさしい手をと、エレベーター設置改修工事の追加を考えては如何か。

答 町長

庁舎が築36年、公民館が築39年で、工事に付随するいろいろな改修が必要となります。技術面・費用面等、今後の検討課題とさせていただきます。

問4 本年度の防災訓練内容は。

答 町長

防災訓練については、毎年震度6弱の地震が発生したとの想定で行っていますが、内容については自治会等とも相談して、より実践的なものとなるよう考えています。

問5 来庁者に迷惑のないよう、工事期間中の駐車場管理方法と公共施設の無断駐車についての考え

答 町長

万全を期すよう工事関係者には注意の喚起をお願いし、お客様に危険が及ばないよう配慮していきます。工事による駐車場の利用制限などは最小限とし、広報誌・ホームページを活用して、住民の方々に周知徹底していきます。また、日中の管理につ

ては、車庫代わりにする周辺住民の行為は容認し難いものです。しっかり対応していきたいと思えます。

問 安心・安全な町づくり、町民に理解を得る政策とは何か。

答 町長

住民が安心して暮らせる町とは、すべてに亘って安全が保障された町でなければなりません。第六次総合計画に、まちづくり3つの基本姿勢
①住民参加による草の根民主主義のまち
②人と人、心と心のつながるまち
③次代を担う人を育てるまち
をもとに6つの基本目標を設定しています。着実に推進して快適で安全なまちづくりに努めていきます。

問 ボランティア活動への参加と町民の認識の薄さをどう向上させるかの方針と事業計画は。

答 教育長

平成21年度のボランティア登録は82名(31団体)です。今後の方針は、「いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、学んだことをまちづくりに生かす」ことであり、その方針を実現するには、皆さんが進んで協力し、自分たちで「まちづくりをする」という気持ちを持つことが大切だと考えています。

今後の施策として、次のことを大切にしたいと考えています。

意識の啓発の方針と取組

- ① 学校支援事業の充実を図る
- ② 各種事業の自主運営を図る
- ③ 中学生を中心に小学生と協力した地域貢献活動の充実を図る

乳幼児医療費助成の拡充の考えは

町長 行政が何でもやるということでは、問題解決とはならない



福井裕子議員

問 厳しい経済状況の中で、通院医療費の助成拡充の考えは。

答 町長

経済が低迷している今、高福祉は高負担となります。財源はということも考えて認識いただきたいと思えます。

福祉をはじめ行政サービスは、行政の努力だけでできるものではありません。行政と地域住民また個人とが、ともに責任をもって機能するシステムをつくりだす努力が大切だと思います。

問 災害時などの取り組みとして、障がい者・高齢者世帯に救急隊員が駆けつけた際、迅速な救命活動が行えるようサポートするため、救急医療情報キット導入の考えは。

救急医療情報キットとは、自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶ「もしも…」のとき、医療情報を入れた専用容器「救急医療情報キット」を自宅の冷蔵庫に保管し、万一の救急時に備えるものです。

- ・ 容器に入れるもの
- ・ かかりつけ医と持病情報
- ・ 服薬内容提供の写し
- ・ 診察券の写し
- ・ 健康保険証の写し

答 福祉健康課長

平成22年度の「くらしの

カレンダー」に町内医療機関情報を掲載し、また、かかりつけ医など緊急連絡先等の記載できる項目を新たに作成して配布します。

当面は、救急医療情報キット導入の代わりに、この欄を活用していきたいと考えています。



くらしのカレンダー掲載の緊急連絡表

インターネット公売の

実績と今後の課題

収納課長／5件の物件を2月に公売



中村広一議員

問 町税の徴収としてのインターネット公売の実績と今後の課題は。

答 収納課長

滞納処分の実績として一番多いのは、預金の差押えです。そのほかに土地・建物等の不動産の差押えと自宅の捜索を行っています。インターネット公売は、捜索を行った際に差押えた物件を処分する方法のひとつで、5件の物件を2月に初めて公売にかけ、合計16万6000円の落札となり、

予想以上の結果であったと思います。

今後の課題、方針としては、悪質な滞納者に対して厳正に対処していくことで、「差押え」中心の徴収にならないを得ないと考えています。

問 上水道料金は県下で2番目に安いですが、有収率が良くない理由は。

答 上下水道課長

主な原因としては、漏水によるものと考えられます。平成19年度に漏水調査を実施し、約60箇所を修繕を行いました。平成22年度には、漏水の多い古い配水管の更新工事を行う予定で、有収率を高め、経営効率を向上

させていきたいと考えています。

有収率
年間配水量（水源地から送られた水の量）と有収水量との比率

有収水量
各家庭や工場で実際に使われ、水道料金の収入につながった水の量

問 東海・東南海地震が起きた場合、飲料水の確保は大丈夫なのか。また防災備蓄倉庫には、どのくらい飲料水はストックされているのか。

答 上下水道課長

現在ある防災備蓄倉庫には、飲料水の備蓄はありま

せんが、汲み上げ井戸が各公園（宮東・中央・八切・条里）に2基ずつと北中西小に2基ずつ設置されています。

各備蓄倉庫には水を運ぶポリ袋が用意され、災害発生時に備えています。

水源地においては2基の配水池の中に最低貯水時でも約2800トンの水が確保され、緊急給水設備により直接配水池から給水できるようになっています。



防火井戸（中央公園）

意見書提出

議員提出により、3件の意見書を関係大臣に提出することになりました。

○「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書（全会一致）

平成22年のNPPT（核不拡散条約）再検討会でヒロシマ・ナガサキ議定書が採択されるよう要請する。

○障害者自立支援法の「応益負担」「日額払い方式」に関する意見書（全会一致）

新法制定までの措置として、自立支援法の「応益負担」を「応能負担」に「日額払い方式」を「月額払い方式」に変更することを要望する。

○保育制度改革に関する意見書（賛成多数）

子どもの権利を最優先に、地方の実情を踏まえたうえで国と地方の責任のもとに実施する充実した制度を要望する。

※次の請願2件は、総務教育常任委員会では採択すべきとなりましたが、本会議で採決した結果、賛成少数により不採択となりました。

・永住外国人に対する地方参政権付与に反対する旨の意見書提出を求める請願
 ・選択的夫婦別姓導入に反対する旨の意見書提出を求める請願

議会の動き

1月

- 10日・消防出初式
 ・成人式
- 14日・議会だより編集委員会

- 20日・第1回臨時会
 ・議会運営委員会
 ・全員協議会

- 22日・知事と町村議長との意見交換会

- 26日・農業委員会
 27日・随時監査

2月

- 5日・鳥根県市議会議長会
 事務局職員視察

- 8日・もとす広域連合議会
 議員会

- 8日・もとす広域連合議会（第1日）
 ・関市議会視察
 ・全員協議会
 ・議会運営委員会

- 10日・公害対策審議会
- 12日・西濃環境整備組合議会

- 15日・もとす広域連合議会（第2日）

- 17日・例月出納検査
- 19日・第2回臨時会
 ・全員協議会

- 22日・総務教育常任委員会
 協議会

- 23日・本巣消防事務組合議会

- 24日・農業委員会
- 25日・土地開発公社理事会

- 25日・議会運営委員会
 ・未来タウン北方ふれあいまつり実行委員会

- 25日・26日
 ・町村議会広報研修会

- 29日・社会教育委員会
- 3日・行財政改革問題特別委員会

- 3月
 3日・社会教育委員会
 4日・行財政改革問題特別委員会

- 9日・中学校卒業式
- 10日・総務教育常任委員会
 ・厚生都市常任委員会
- 11日・第3回定例会（第2日）
- 12日・第3回定例会（第3日）
- 15日・厚生都市常任委員会
- 16日・総務教育常任委員会
- 17日・例月出納検査
- 18日・第3回定例会（第4日）
- 19日・町立幼稚園卒園式
- 24日・施設管理公社理事会
- 25日・農業委員会
- 26日・まちづくり活動事業審査委員会
- 29日・北方バスターミナル竣工式

- 25日・26日
 ・町村議会広報研修会

- 29日・北方バスターミナル竣工式

議会改革推進委員会を設置



副委員長
安藤 浩孝 議員



委員長
廣瀬 和良 議員

第3回議会定例会で議員提案により、議員全員（10人）による議会改革推進委員会が設置されました。直ちに委員会が開かれ委員長に廣瀬和良議員、副委員長に安藤浩孝議員が選出されました。議会基本条例制定に伴い、議会改革を継続的に取り組むため、議会運営及び議員活動のあり方について調査研究など行っています。

▶ 視察研修の様子



議会基本条例の制定に伴い、その視察研修として去る2月5日、鳥取県市議会議長会の議会事務局職員7名と8日、関市議会議員5名が視察研修に来町された。制定に至る経過と議論、条例の内容として自由討議、

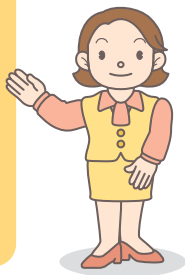
反問権の付与、住民との関わりなどについて討論しました。条例制定により本町議会でも検討して行くことも多く、今後の議会運営・議員活動に役立てたいと思います。

鳥取県市議会議長会（議会事務局職員） 関市議会が来町

議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月です

傍聴の手続きは、議会事務局で住所と氏名を記入するだけです。関心のある方は、お気軽にお越しください。



編集後記

住民参加の議会運営を進める上では、議会活動に関する情報を町民の皆様に関し、説明することが大切だと思っています。

そのため、私たちは「議会だより」を発行して、その役割を託しています。

この「議会だより」が役割を果たすには、多くの町民の皆様の手にとって読んでいただけるものを提供しなければなりません。

町民の皆様が知りたい情報、知ってもらいたい情報を提供できるよう、皆様の視点にたって編集に心がけ、より充実した「議会だより」にしていきたいと思っています。皆様のご指導とご叱責をお願いします。

議会だより編集委員会

委員長 廣瀬和良

